

建設技術展示館 第10期展示申請書記載要領

審査の対象となる「展示申請書」については、次の項目に留意して作成してください。

（様式1）

- ・共同開発した技術の場合、他権利者の同意・了承を得た上で応募してください。その場合、社名（団体名）は他権利者の合意を得たものとしてください。（単独、共同申請、どちらでもかまいません）。
- ・「＊」は必須項目なので、必ず記入してください。
- ・副題は一般の方にもわかりやすい表現をお願いします。技術名が略号等で表示される場合は特にお願いします。

（様式2 2. 技術・製品の概要等）

①概要

何のための技術・製品か、200字程度で簡潔に記述してください。なお、詳細については、様式2の②「適用範囲と適用条件」以降に記述することになるので、“概要”であることを意識して記述してください。

②適用範囲と適用条件

技術・製品が対象としている技術分野の範囲と設計・施工等の条件を記述してください。

③技術・製品の特性とメリット

技術・製品が長期にわたって安定して使用できる良好な社会資本形成や運用、国民生活（市民生活）の向上や安全・安心な社会構築にどのように貢献できるかを中心に記述してください。記述に関しては、応募する分野（「安全・防災」、「環境」、「コスト削減」、「IT」、「ユニバーサルデザイン」、「工事品質確保」）でどのような効果があるかを具体的に記述してください。なお、応募する分野にかかわらず、施工期間や建設費の削減に対する効果も含めて記述してください。

（様式3 3. 技術・製品の詳細、類似技術・製品に対する優位性）

- ・この項目では、技術・製品の内容、構造、施工方法等について、詳細にわかりやすく説明してください。
- ・従来技術・製品がある場合、また、類似技術や類似製品がある場合は、これらに比較して当該技術・製品が優れている点（優位性）をできるだけ具体的に記述してください。
- ・記述に関しては、例えば条件を明示して比較するなど、具体的でわかりやすい説明にしてください。
- ・応募分野以外に別分野にも該当する場合（様式1に記入項目があります）、その分野に関する記述をお願いします。

（様式4 4. 技術・製品の完成度と施工実績）

①開発状況

技術・製品がどのような開発状況にあるのかを記述してください。開発状況とは、「完成した技術」「技術開発段階」「理論・研究段階」等をいいます。

②技術開発の動機、背景等

技術開発の動機・背景、研究開発の体制（自社開発、共同開発等）を記述してください。また、差し支えなければ研究開発の時期、要した期間等を記述してください。

●動機・背景についての記載例

「技術を改良することで需要が増えると考えた」
「たまたま異分野での技術を知り、土木技術に応用できそうと考えた」等

- 自社開発の場合は「自社単独」、共同開発の場合は共同開発者名（同業他社、異業他社、大学、公的機関等）を記述してください。

③施工実績

施工実績があれば、どこで、どれくらいの規模で施工されたかを記述してください。

（※なお、施工実績は必須ではありません。実績がなくても応募できます。建設技術展示館では、完成して実績のある技術・製品だけではなく、今後、良質な社会資本整備に貢献できる技術・製品も募集しています。）

④技術資料・論文等

技術・製品について、公表されたレポート、技術資料、論文等があれば、発表会議、論文名、著者、発表年を記述してください。また、URLにこれらの記述が掲載されている場合は、そのアドレスを記述してください。

なお、パンフレット等ある場合はPDFファイルか郵送にて提出してください。

（様式5 5. 小間内レイアウト図）

- ・展示の工夫点については、具体的にどのような展示になるか、また、説明方法等をわかりやすく工夫している点を記述してください。内容については、『〇〇に関してビデオ〇分で説明』『全体の動きがわかる模型を展示』等、具体的に記述して下さい。
- ・継続応募の場合は、従来の展示手法から工夫した点を具体的に記述してください。
- ・なお、出展技術のリアル情報提供（日めくりニュース）もブース内で可とします。